

# 松山大学法学部学術講演会

演題：「大学 —過去・現在・未来—」

講師：吉岡知哉先生（立教大学名誉教授、立教大学前総長）

## 講演概要

グローバル化や急速に進む少子高齢化など、我が国の高等教育を取り巻く環境は大きく変容し、複雑化しており、我が国の高等教育の先行きの不透明感が高まっている。

第19代および第20代立教大学総長として、大学運営の最前線で活躍され、中教審など、現在の日本政府の文教政策にも造詣が深い、吉岡教授をお迎えし、大学の歴史、現在、特に日本の大学が置かれている状況やその将来像についてレクチャーをいただき、大学とは何かという問題について、大学に集うものとして自省とともに考えなおす機会としたい。

コーディネーター

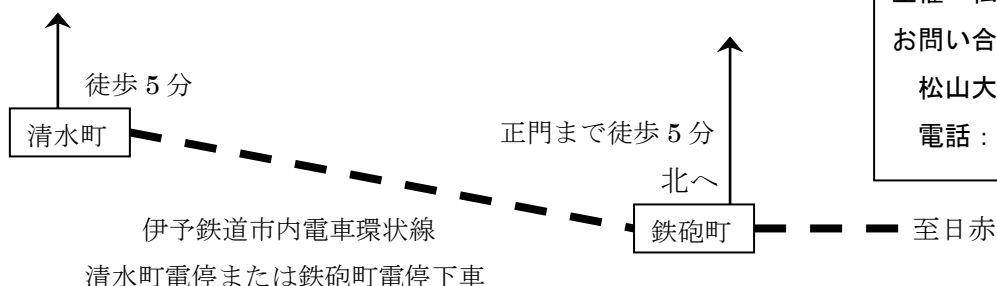
松山大学法学部教授 遠藤 泰弘

日時：2019年 4月22日(月)

18:00～19:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 カルフール・ホール



講師：吉岡知哉氏の経歴

1953年東京生まれ、東京大学法学部卒業、立教大学法学部助手、同講師、同助教授、同教授、立教大学総長を経て、現在、立教大学名誉教授、独立行政法人日本学生支援機構理事長  
著書—『ジャン=ジャック・ルソー論』（東京大学出版会・渋沢・クローデル賞受賞）、『ルソーを学ぶ人のために』（共著、世界思想社）他

主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）